



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キッツ
コード番号 6498 URL <https://www.kitz.co.jp>
代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 河野 誠
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務センター長 (氏名) 牛丸 誠 TEL 03-5568-9260
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	40,211	2.5	2,812	△19.6	3,340	△11.6	2,507	△25.7
2023年12月期第1四半期	39,241	6.8	3,496	28.5	3,776	33.3	3,376	80.9

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 4,558百万円 (17.1%) 2023年12月期第1四半期 3,891百万円 (△10.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	27.96	-
2023年12月期第1四半期	37.66	37.65

(注) 2024年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第1四半期	170,177	104,611	60.6	1,151.09
2023年12月期	166,693	102,207	60.5	1,124.39

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 103,189百万円 2023年12月期 100,874百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	18.00	-	23.00	41.00
2024年12月期	-	-	-	-	-
2024年12月期(予想)	-	19.00	-	22.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	83,600	2.9	6,600	0.4	6,840	△5.5	5,000	△8.8	55.74
通期	170,000	1.8	14,500	5.9	14,800	2.4	10,600	0.1	118.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期1Q	90,396,511株	2023年12月期	90,396,511株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	751,381株	2023年12月期	681,641株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期1Q	89,680,000株	2023年12月期1Q	89,661,067株

（注）当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数に含めております。（2024年12月期1Q 396,076株、2023年12月期 396,076株）

また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式に含めております。（2024年12月期1Q 396,076株、2023年12月期1Q 418,587株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2024年5月16日（木）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算補足説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー資源・原材料価格の高騰や金融引き締めによる景気の下振れ懸念が続く中、中国における不動産市場の低迷や中東地域をめぐる情勢不安などもあり先行き不透明な状況が続きました。国内経済においても、好調なインバウンド需要や個人消費の持ち直しが見られたものの、エネルギー資源・原材料価格の高騰や為替の影響による物価上昇が続き厳しい状況が継続しました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間は、バルブ事業において、国内市場・海外市場ともに販売量が減少したものの、前第3四半期連結会計期間に実施した価格改定の効果や為替の影響等により、売上高の総額は前年同期比2.5%増の402億11百万円となりました。

損益面では、営業利益は、バルブ事業において、販売量の減少のほか、賃上げを実施したことによる人件費の増加やインフレに伴う経費の増加等により、前年同期比19.6%減の28億12百万円となりました。経常利益は、前年同期比11.6%減の33億40百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当第1四半期連結累計期間も政策保有株式の売却による投資有価証券売却益の計上はありましたが、前年同期比25.7%減の25億7百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

① バルブ事業

バルブ事業の外部売上高は、国内市場・海外市場ともに販売量が減少したものの、前第3四半期連結会計期間に実施した価格改定の効果や為替の影響等により、前年同期比3.4%増の331億38百万円となりました。営業利益は、販売量の減少のほか、賃上げを実施したことによる人件費の増加やインフレに伴う経費の増加等により、前年同期比15.3%減の38億円となりました。

② 伸銅品事業

伸銅品事業の外部売上高は、業界全体の需要低迷に伴う販売量の減少により、前年同期比2.3%減の65億66百万円となりました。営業利益は、販売量は減少したものの、減耗率の低減等により前年同期比87.0%増の1億63百万円の営業利益となりました。

③ その他

その他の外部売上高は、前年同期比6.6%増の5億6百万円となり、営業損益は、43百万円の営業損失（前年同期は64百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、現金及び預金や棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ34億83百万円増加し1,701億77百万円となりました。

負債につきましては、賞与引当金や未払法人税等の減少等はありませんでしたが、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ10億79百万円増加し655億65百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いはありませんでしたが、親会社株主に帰属する四半期純利益25億7百万円の計上や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ24億4百万円増加し1,046億11百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ31億89百万円増の315億88百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益36億18百万円、減価償却費18億71百万円となったほか、売上債権及び契約資産の減少7億93百万円等により、法人税等の支払19億11百万円、賞与引当金の減少15億73百万円等はありませんでしたが、営業活動によるキャッシュ・フローは28億79百万円の資金の増加(前年同期は41億72百万円の増加)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

バルブ事業を中心に有形固定資産の取得による支出20億50百万円等を行った結果、投資有価証券の売却による収入5億41百万円等はありませんでしたが、投資活動によるキャッシュ・フローは11億11百万円の資金の減少(前年同期は1億52百万円の減少)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増37億9百万円等により、配当金の支払20億72百万円、長期借入金の返済による支出6億1百万円等はありませんでしたが、財務活動によるキャッシュ・フローは8億39百万円の資金の増加(前年同期は30億27百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2024年2月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,002	31,704
受取手形、売掛金及び契約資産	22,449	22,207
電子記録債権	11,833	11,683
商品及び製品	15,944	15,984
仕掛品	8,256	8,742
原材料及び貯蔵品	12,845	13,793
その他	3,670	2,648
貸倒引当金	△142	△137
流動資産合計	103,859	106,626
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,508	16,580
機械装置及び運搬具（純額）	13,420	13,612
土地	9,848	9,883
その他（純額）	12,155	10,834
有形固定資産合計	49,932	50,910
無形固定資産		
のれん	231	208
その他	1,732	1,498
無形固定資産合計	1,964	1,706
投資その他の資産	10,937	10,933
固定資産合計	62,834	63,551
資産合計	166,693	170,177

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,935	9,393
1年内償還予定の社債	135	10,135
短期借入金	1,046	4,776
1年内返済予定の長期借入金	1,623	1,258
未払法人税等	2,361	1,140
賞与引当金	3,058	1,507
役員賞与引当金	281	75
その他	9,048	9,413
流動負債合計	26,490	37,699
固定負債		
社債	30,270	20,202
長期借入金	3,487	3,350
役員退職慰労引当金	299	290
役員株式給付引当金	184	184
退職給付に係る負債	799	835
資産除去債務	605	610
その他	2,349	2,392
固定負債合計	37,995	27,866
負債合計	64,486	65,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,207	21,207
資本剰余金	5,739	5,750
利益剰余金	65,258	65,693
自己株式	△459	△545
株主資本合計	91,745	92,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,203	2,482
為替換算調整勘定	6,935	8,612
退職給付に係る調整累計額	△9	△10
その他の包括利益累計額合計	9,128	11,083
非支配株主持分	1,333	1,422
純資産合計	102,207	104,611
負債純資産合計	166,693	170,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	39,241	40,211
売上原価	28,764	29,884
売上総利益	10,476	10,326
販売費及び一般管理費	6,980	7,514
営業利益	3,496	2,812
営業外収益		
受取利息	25	66
受取配当金	22	22
為替差益	—	232
保険収入	134	140
その他	264	192
営業外収益合計	447	655
営業外費用		
支払利息	62	64
為替差損	57	—
その他	47	62
営業外費用合計	167	127
経常利益	3,776	3,340
特別利益		
有形固定資産売却益	4	3
投資有価証券売却益	977	298
その他	177	0
特別利益合計	1,159	302
特別損失		
有形固定資産除売却損	29	20
その他	—	4
特別損失合計	29	24
税金等調整前四半期純利益	4,906	3,618
法人税等	1,475	1,026
四半期純利益	3,430	2,591
非支配株主に帰属する四半期純利益	53	84
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,376	2,507

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	3,430	2,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△391	279
為替換算調整勘定	852	1,688
退職給付に係る調整額	△0	△1
その他の包括利益合計	460	1,966
四半期包括利益	3,891	4,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,818	4,462
非支配株主に係る四半期包括利益	72	95

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,906	3,618
減価償却費	1,708	1,871
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,407	△1,573
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	14	42
受取利息及び受取配当金	△48	△89
支払利息	62	64
投資有価証券売却損益 (△は益)	△977	△298
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	2,175	793
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,353	△702
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△682	479
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,001	165
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,750	553
その他	△331	△113
小計	5,818	4,810
利息及び配当金の受取額	48	79
利息の支払額	△101	△98
法人税等の支払額	△1,592	△1,911
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,172	2,879
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,781	△2,050
有形固定資産の売却による収入	4	5
無形固定資産の取得による支出	△122	△151
投資有価証券の取得による支出	△3	△2
投資有価証券の売却による収入	1,629	541
その他	121	546
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152	△1,111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△11	3,709
長期借入れによる収入	—	100
長期借入金の返済による支出	△497	△601
社債の償還による支出	△200	△67
配当金の支払額	△1,622	△2,072
自己株式の取得による支出	△66	△86
その他	△629	△142
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,027	839
現金及び現金同等物に係る換算差額	230	582
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,222	3,189
現金及び現金同等物の期首残高	24,076	28,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,299	31,588

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法を採用しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	バルブ 事業	伸銅品 事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高					
外部顧客への売上高	32,043	6,723	474	—	39,241
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55	503	16	△575	—
計	32,098	7,226	491	△575	39,241
セグメント利益又は損失 (△)	4,488	87	△64	△1,014	3,496

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル及びレストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,014百万円には、セグメント間取引消去△13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,001百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の本社の人財部、総務部、経理財務センター及び経営企画部等の発生費用で、幕張本社ビルの管理費用を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	バルブ 事業	伸銅品 事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高					
外部顧客への売上高	33,138	6,566	506	—	40,211
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	508	15	△567	—
計	33,182	7,074	521	△567	40,211
セグメント利益又は損失 (△)	3,800	163	△43	△1,107	2,812

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル及びレストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,107百万円には、セグメント間取引消去△12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,094百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の本社の人財部、総務部、経理財務センター及び経営企画部等の発生費用で、本社ビルの管理費用を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。